

平成 27 年度 第 3 回 介護・医療連携推進会議 記録

● 事業所情報

法人名	株式会社エイブレイス
事業所	エイブレイス麻生

● 開催日時・場所

日時	平成 27 年 10 月 29 日 (木) 14:00～15:45
場所	福祉パルあさお 会議室

● 参加者 (順不同)

NO	所属 (役職)	氏名
1	川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課介護基盤係	A 様
2	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会あさお訪問介護支援事業所	B 様
3	訪問看護ステーションゆらりん	C 様
4	居宅介護支援センター虹の里	D 様
5	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブグループとも	E 様
6	「結」ケアセンターあさお	F 様
7	「結」ケアセンターかきお	G 様
8	栗木台地域包括支援センター	H 様
9	エイブレイス麻生 (管理者)	初山 輝行
10	エイブレイス麻生 (計画作成責任者)	中山 あんり
11	エイブレイス麻生 (看護師)	小林 瑞紀

● 議事

NO	議事内容
1	サービス提供状況について
2	事例検討について
3	その他 (質疑応答等)

● 記録

議事 1	サービス提供状況について
	<当日配布資料にて報告>
議事 2	事例検討について
	<当日配布資料にて報告>
議事 3	その他（質疑応答等）
ご参加者	定期巡回に移行する際、もともとの訪問介護事業所はケアが終了になるのですか？
中山	今まで入っていた訪問介護事業所さんと連携の契約をさせていただければ、定期巡回サービスとして、そのままケアを継続していただくことが出来ます。ぜひ、連携をしていただき、そのままケアを継続していただきたいと考えております。
ご参加者	連携の事業所として、週4日ヘルパーを確保するのは難しく、特に土曜日のヘルパーの確保が困難でした。実際にサ責が3回くらいカバーで入りましたが、今はヘルパーの確保が出来ています。エイプレイスはタブレットを導入されているので、その操作ができない、時間内にケアが終わらないというヘルパーの力量不足、タブレット本体の調子が悪くヘルパーが困ってしまうということがありますが、何かあったらエイプレイスに連絡するよう伝えてあります。今まではヘルパーからサ責を通してエイプレイスへ連絡をしていたのですが、ヘルパーから直接エイプレイスへ緊急用ではない事務所の電話番号へ連絡するように切り替えました。
初山	あるケースでは「男は来るな」と非常に男性職員に対する拒否がお強い方でしたが、連携事業所さんの方で、女性スタッフを確保して下さり、女性ヘルパーのみの対応で、定期巡回サービスを利用させていただくことが出来たケースもございます。
ご参加者	もともと入っていた訪問介護事業所とエイプレイスの違いの認識はご利用者さんはどのような感じですか？
ご参加者	ご利用者は今までの事業所との違いは分からないみたいですよ。
ご参加者	はじめは混乱するかもしれないですね。でもオレンジのユニフォームの人とそうでない人みたいなくくりで見ているようですよ。徐々に慣れていただけたらと思います。
ご参加者	滞在時間が長いのはもともとの人で、ちょこちょこ来るのがエイプレイスという認識かもしれませんね。前から入っている、長時間滞在するヘルパーにはご利用者が無理なお願いをしたりして。
ご参加者	確かに、長時間滞在して、生活面のケアをしている方に言いやすいのはあるかもしれませんがね。でもエイプレイスが入る事によってもともと入っていたケアはそのままに、プラスして残りの部分及び状況に応じてケアして下さるから助かってはいます。あとはご利用者の理解だと思えます。
ご参加者	定期巡回サービスでは、定期的な通院などどの位受け入れが可能なのですか？往診ではなく通院となるケースもあったり、あとはもともと1時間半のケアが入っていたとかいった場合もあるので、そういった時にどこまで対応してくれるのかしら。
ご参加者	通院については基本的には訪問介護と同じですから、介護保険で算定する部分と算定できない部分があると思います。ただ3時間通院した場合、診察以外の2時間45分を連携先

	に委託料として支払えるかは難しいところです。
ご参加者	定期巡回サービスはこれからがんばってほしいサービスで、うまく定着してほしいと思っています。なので、ケアマネもできるだけ採算が合うようにしたいと思うのですが。前向きに検討していただければと思います。
初山	一概には言えませんが、定期的な受診であれば、現状は1時間以上は難しいと感じています。基本的には巡回と随時対応がメインとなりますので、短時間複数回の訪問になります。でも、ケアが必要であれば、それは収支勘定は関係なく、対応させていただきたいと考えております。定期巡回の可能性を広げて行きたいと考えています。
ご参加者	実際の診察は15分程度なのに、行き帰りで1時間待ち時間が1時間半ということもざらですよ。大きな病院ほどそのような傾向にあると思います。例えば介護タクシーの併用というのはどうなのでしょう？
ご参加者	介護タクシーの方は一緒には付き添ってくださらない場合が多いです。
ご参加者	介護タクシーを運営している人から聞いたことがある話では、介護タクシー側も病院に送って事務所に戻ってまた迎えに行くよりも、病院で待機している方がよいと。だからその待機時間を付き添いしてもらえないかのご利用者側が交渉しているという話を耳にしたことがあります。でも包括報酬で通院が半日あるとそれだけで人を1人とられちゃうから厳しいことはよく分かります。
ご参加者	ちなみに、定期巡回には上限のご利用者数はあるんですか？今後定期巡回サービスの利用を申し込んだ際に人員的なことで断わることはあるんですか？それとも何人でも受け入れて下さるんですか？
初山	上限はありません。訪問時間等のご相談させていただくことがあるかと思いますが、基本的にはご依頼いただければ全ての方をお受け出来るよう最優先に調整したいと考えています。
ご参加者	連携を断られる理由は何ですか？デメリットはあるんですか？なぜどんどん増えていかないんですかね？収支が合わないとか、採算が合わないとかがあるのでしょうか？
ご参加者	身体介護と生活援助の時給が違うことに係わっているのかと思います。あと、短い時間の身体介助は登録ヘルパーさんは割が合わないといって受けてくれないんですよ。でも事業所としては、これまでは定期巡回サービスに切り替わったからケアが終了してしまっていたものが、連携することによって多少マイナスがあっても継続出来ますので、終了となってしまうよりは良いかなということで連携しています。
ご参加者	我々の事業所は身体介護と生活援助の時給の差はありません。今後定期巡回サービスは必要となってくるサービスですから、それに協力したいという思いで連携しています。ただ、やはりケア時間が10分だと割には合いません。交通費もありますし、せめて最低でも30分は必要かなと。でも何とかご協力させていただいています。
ご参加者	話を伺っていると、連携だけでもしておいて損はないのかなと思いました。実際にケアが連携できるかは別として、連携先をもっと増やして認知度を上げていけたらいいのになと思いました。連携契約はタダなんですよ？契約だけでもしておけばいいのに。
ご参加者	私もそう思いますよ。連携しておけばいざという時に助かると思うんです。連携すること

	によりメリットがあれば、もっと増えると思います。
ご参加者	ちょっと思うのは、エイプレイスと我々とで連携していますが、エイプレイスとやり方が違うのかな？と思うことがあります。連携先の事業所は直接ケアマネージャーとのやりとりはなく、ケアマネージャーとの関係性も遠いように感じます。
ご参加者	例えば、担当者会議をやる時に声掛けはエイプレイスにしますが、連携先の事業所へはエイプレイスから声掛けをするんですか？
ご参加者	連携事業所としての意向は、ケアマネが分からないし、月1回のモニタリングもないので、ケアマネと関わることがないですね。事業所ではヘルパーと話ことはあってもそれを当てるところ、訴えるところがないんです。ご家族がご覧になっているからタブレットにも業務上の連絡等入力できないようなことがあって、言えない部分のヘルパーの報告をどうしたらいいのかなと思うことがあります。
ご参加者	それはエイプレイスに直接電話でも伝えたらどうですか？でも現場に出ている人達は、ケアマネージャーに報告をした時に仕事が完了するようになっていて多いと思います。ほめられたくて働いているといいますか。誰かに報告をすることによって充実感をもてるんだと思います。
中山	私は連携先の事業所さんとケアのやり方が違うなと感じたことはなく、ケアについては何も問題はないと思っています。連携先の事業所さんのサ責さんのご意見なども伺えるので、よかったなと思っていたのですが。ただ、定期巡回サービスでは、連携先の事業所さんとケアマネージャーさんをつなぐのが計画作成責任者の役割だと思います。今までのお話は、計画作成責任者である私の力量不足によるものだと思います。申し訳ありません。今後は連携先の事業所の皆さんともっとコミュニケーションをとるよう心掛けていこうと思います。
ご参加者	スマケアは便利ですし、これがあるからこそ連携型の定期巡回サービスが実現できるのだと思いますよ。
初山	貴重なご意見をありがとうございました。定期巡回にはまだまだいろいろな可能性があると思いますので、皆様のご意見を大切に今後もよりよい定期巡回サービスとなるよう努力して参ります。本日はありがとうございました。

作成者	中山 小林 初山
-----	----------

以上